

平成20年3月期第3四半期（連結）の概況

経営成績

我が国経済は、企業収益が高水準で推移する中、民間設備投資は引き続き増加基調にあり、雇用者所得が緩やかな増加を続けるもとで個人消費も底堅く推移していますが、住宅投資の落ち込みなどから、景気は減速しております。一方、海外においては、アジアを中心に景気が拡大しております。

このような経済環境のもと、当社グループの当第3四半期（平成19年4月1日から平成19年12月31日）の業績は、売上高は需要が好調な鉄鋼、建設機械などを中心に増加し、前年同期に比べ1,801億円増収の1兆5,391億円となりましたが、営業利益は、税制改正を受け減価償却方法を変更したことに伴う償却費の増加などにより、前年同期に比べ52億円減益の1,409億円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ152億円減益の1,125億円、四半期純利益は前年同期に比べ72億円減益の686億円となりました。





事業のセグメント別売上高情報

セグメント別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社「株主・投資家の皆様へ」サイト掲載の平成20年3月期第3四半期財務・業績の概況をご覧ください。

